



各種資料・データはD-cataをご覧ください

関連情報

製品情報

総合カタログ

P.241

床材

床暖房

壁材・腰壁

天井材・軒天井材

内装ルーバー材

耐震ボード・下地材

防草材

換気・火災警報器

防音建材・音響製品

## エコヘルボードの品質・規格

項目	単位	社内測定値	
		エコヘルボード	JIS規格(シージングボード)
密度 <sup>*1</sup>	g/cm <sup>3</sup>	0.33	12mm厚
含水率	%	8	0.40未満
曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	3.2	3.0以上
吸水厚さ膨張率	%	5	10以下
熱抵抗	m <sup>2</sup> ·K/W	0.14	-
熱伝導率	W/m·K	0.051	0.067以下
硬度 <sup>*2</sup>	N	340	-
静荷重圧縮凹み量 <sup>*3</sup>	mm	0.23	-

\*1 気乾状態で測定  
\*2 硬度: 50φ硬球を用いて3mm深さまで押し込んだときの荷重(硬さの評価)  
\*3 静荷重圧縮凹み量: 40×40mm根太用木材を用いて1kg/cm<sup>2</sup>の荷重にて長期放置

遮音性能(透過損失)		(単位: dB)				
品名	Hz	125	250	500	1000	2000
エコヘルボード		11	13	18	22	28

測定: (一財) 建材試験センター

※記載される物性値は保証値ではありません。

## 施工上の禁止事項

- 無垢材の床下地には使用できません。(目録・床鳴りの原因となります)
- 床暖房用の下地には使用できません。(目録・床鳴りの原因となります)

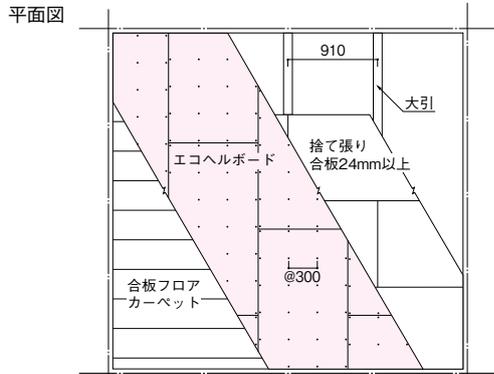
### [ご注意]

- 床下地が十分に乾いていることをよく確認してください。万一濡れている場合は絶対に製品を施工しないでください。
- 床下換気口は住宅金融支援機構の仕様書に基づいて設置してください。
- 床下が高湿になる恐れがあるときは、あらかじめ床下地表面に防湿気密シート(防湿シート)を敷いてください。
- 捨て張り合板はレンガ張りとし、継ぎ目に段差がないようにしてください。
- 捨て張り合板、エコヘルボード、合板フロアの目地は重ならないようにしてください。合板フロアの段違いや、床鳴りの原因となります。
- 床鳴り防止のために接着剤は直床ボンドウレタンLV等をおすすめします。(くし引き状にボード両面にまんべんなく塗布してください。塗布量: 500g/m<sup>2</sup>(片面))
- 合板フロアは、長さ1,818mm以上・厚さ12mm以上の製品をご使用ください。
- RC床への接着はできません。
- Pタイルや長尺塩ビフロア、クッションフロア、防音フロア(裏面にクッション材が施されているもの)下地には使用できません。

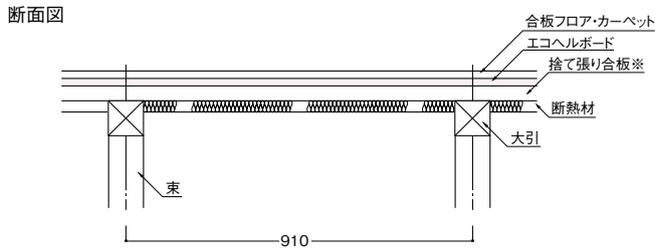
## 床下地施工

※エコヘルボードの取付: シージングボード釘(SN40)又は普通釘(N38)@300  
ステープル施工の場合は巾=7mm以上、ℓ=19mm以上のステープルを使用@300  
いずれも直床ボンドウレタンLV併用 塗布量: 500g/m<sup>2</sup>  
※合板フロアの取付: 使用釘ℓ=50 直床ボンドウレタンLV(ウレタン系接着剤)併用塗布量: 500g/m<sup>2</sup>

### ①合板捨て張り工法(根太なし)

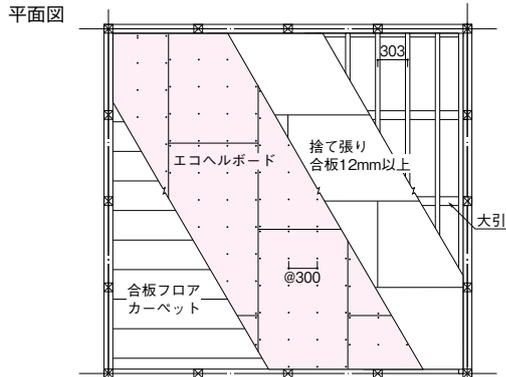


※床下地は大引(床梁)を910mm間隔に組んでください。

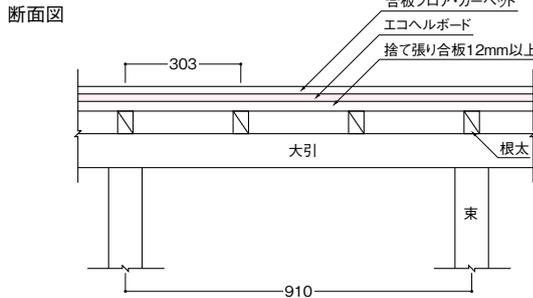


※捨て張り合板は厚さ24mm以上の構造用合板をご使用ください。  
メーターモジュール(大引(床梁)1,000mm間隔)の場合は、厚さ28mm以上の構造用合板をご使用ください。

### ②合板捨て張り工法(根太あり)



※床下地は大引(床梁)を910mm、根太を303mm間隔に組んでください。



※捨て張り合板は厚さ12mm以上の構造用合板をご使用ください。



各種資料・データはD-cataをご覧ください

関連情報

製品情報

総合カタログ

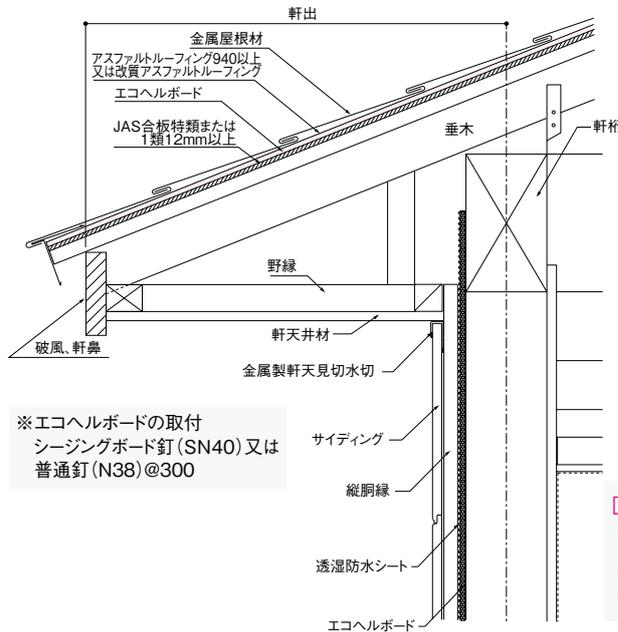
P.241

## 納まり図

### 屋根下地施工

#### 施工上の禁止事項

- 雨・雪・露などで屋根面が濡れている場合や、強風時には施工しないでください。
- 不燃スレート瓦下地としては使用できません。(施工時の加重等で瓦が破損する恐れがあります。)



※エコヘルボードの取付  
シージングボード釘(SN40)又は普通釘(N38)@300

#### 【ご注意】

- 屋根下地に使用する際には必ず野地板(JAS合板特類または1類12mm以上)を捨て張りしてください。
- 野地板目地とエコヘルボードの目地はずらして施工してください。
- 屋根下地施工にはステープル施工はしないでください。

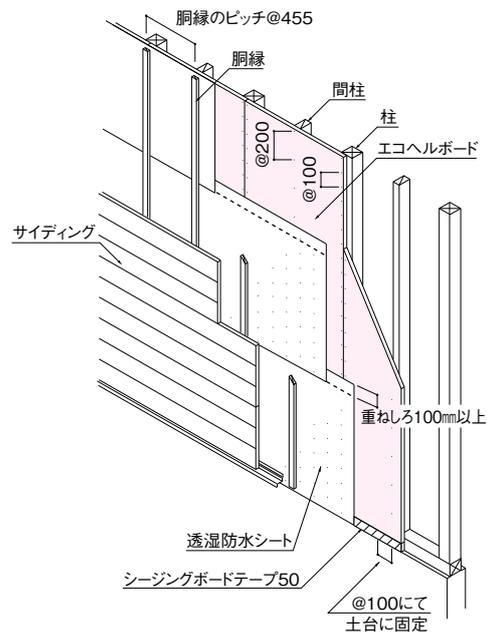
### 壁下地施工

#### 施工上の禁止事項

- 強風時には施工作業は行わないでください。風にあおられて、転倒やエコヘルボードの飛散の恐れがあります。

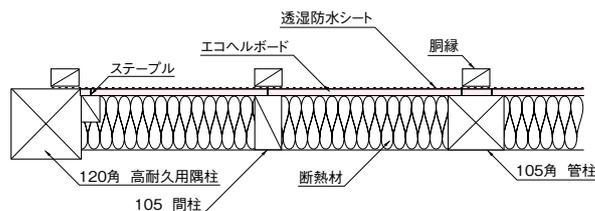
#### 【ご注意】

- エコヘルボードを壁下地に使用する場合、通気構法以外に使用しないでください。
- エコヘルボードをステープル施工後は速やかに透湿防水シートと胴縁を施工してください。ステープルのみの状態ですと外れる場合があります。
- エコヘルボードのサッシ廻り及び下面木口は吸水防止の為、シージングボードテープを施工してください。
- エコヘルボードの取付はステープル(巾=7mm以上、ℓ=19mm以上)または普通釘(N38)、シージングボード釘(SN40)を使用してください。
- 胴縁はN65以上の釘で取付けてください。



### 壁断面図

平断面図



### 養生用途施工

エコヘルボードはクッション性があり、落下傷や砂塵みによる傷を防ぎます。